

(区社協独自助成)

(様式1-1)

令和5年度 旭区社会福祉協議会助成金 申請書

【あさひ子どもの未来応援助成金】

令和 5 年 4 月 15 日

社会福祉法人横浜市旭区社会福祉協議会

会長 池田 宏史 様



申	ふりがな	あさひ☆ちいきこどもしょくどう		ふりがな	あさひ はなこ
	団体名	旭☆地域子ども食堂		代表者氏名	旭 花子
請	代 表 者	住所	〒241-0022 旭区鶴ヶ峰 1-6-35		
		電話	090-1111-0000	FAX	392-0222
団 体	ふりがな	よこはま たろう		電話	090-2222-0000
	連絡担当者	横浜 太郎		住所	〒241-0022 旭区鶴ヶ峰 1111-XXXX

次の助成金について申請いたします。

1,000 円単位で申請してください。

申請金額 ￥ 40,000.-

<申請区分> 年 10 回以上(月 1 回程度) 年6~9回  
新規立ち上げ

<申請内容>

※あさひふれあい助成金を申請する場合、〈申請内容〉欄は記入を省略することができます。

【重複申請の場合チェック⇒ 】

活動の事業名	旭☆地域子ども食堂
事業の概要 および目的	広く子どもを含む住民を対象に、安価な価格で食事を提供する地域子ども食堂の開催により、誰でも気軽に集うことができ、地域の中でのつながりを作るきっかけづくりや見守りの場となるような居場所となることを目的とします。 子ども50円、大人300円でカレーを提供します。
対象者	子ども(未就学児、小学生、中学生、高校生)を含む地域住民 (普段一人でご飯を食べている子、生活にお困りの子育て世帯、孤立しがちな一人暮らし高齢者などに来てもらいたい。)

(区社協独自助成)

(様式1-2)

実施時期 および回数	月1回程度 年13回開催予定。毎月第3土曜日 11時～14時。 ※夏休みは2回実施。
開催場所	〇〇地区センター
1回あたりの 参加者数	内訳として子どもの人数も記載。 1回あたり、30名(うち、子ども10名)を想定
担い手	ボランティア20名程度
事業の周知方法	・連合に協力を依頼し、回覧板、掲示板にて周知。 ・地区内の小・中学校、幼稚園、保育園にチラシの掲示を依頼。 ・ツイッターの活用

※開催予定の事業のチラシや企画案を申請書と一緒にご提出ください。

### <収支予算>

	科目	予算額(円)	説明(内訳・算出根拠)
収入	区社協独自助成金	40,000	あさひ子どもの未来応援助成金
	利用料収入	5,250	子ども@50×10名×5回の一部 大人@300×20名×5回の一部
収入合計		45,250	

	科目	予算額(円)	説明(内訳・算出根拠)
支出	食材費	45,250	4～8月開催の5回分の食材費
支出合計		45,250	※助成額以上となること

※収入・支出の合計額は同額になります。説明欄には、内訳・算出根拠を詳しくご記入ください。